

がつ ぎょうじよてい 8月の行事予定

にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	どようび 土曜日
						1 ・曲暮
2	3 ・新転研修 ・曲暮	4 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ	5 ・新転研修 ・曲暮 ・スマイルジュニア	6 ・隣保館学習会 ・貯筋体操	7 ・新転研修 ・各種相談日 ・卓球	8 ・曲暮
9	10 山の日	11 ・隣保館学習会 ・周辺地域巡回事業 ・フォークダンス	12 ・曲暮 ・スマイルジュニア	13 ・ふれあい喫茶 (9月まで中止) ・パソコン	14 ・卓球	15 ・曲暮
16	17 ・隣保館学習会	18 ・新転研修 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ	19 ・曲暮 ・スマイルジュニア	20 ・貯筋体操 ・パソコン	21 ・隣保館学習会 ・卓球 (AM)	22 ・曲暮
23	24 ・曲暮	25 ・東予地区同事前研究会 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ	26 ・曲暮 ・スマイルジュニア	27 ・貯筋体操 ・パソコン	28 ・新転研修 ・卓球	29
30	31					

あさひぶんかかいかん
朝日文化会館
か い か かん

あさひぶんかかいかんれんらくさき
朝日文化会館連絡先
じゅうしょ しこくちゅうおうしみしまあさひ ちょうめ ばん ごう
住所：四国中央市三島朝日3丁目5番30号
TEL：28-6070
FAX：28-6104

会館だより

だい ごうれいわ ねん がつごう
第448号令和2年8月号



あさひぶんかかいかん がいかん
【朝日文化会館の外観】

【お知らせ】

あさひぶんかかいかん かんせんよぼう てっぺい かく きょうしつ さいかい
朝日文化会館では感染予防を徹底し、各サークル・教室を再開しています。

- 第33回GoGo松柏ふるさとまつり 8月1日(土)、2日(日) **中止**
- 新転研修 8月3日(月)、5日(水)、7日(金)、18日(火)、28日(金)
- 隣保館学習会 8月6日(木)、11日(火)、17日(月)、21日(金)、
13時30分～、三島地域小・中学校教職員
- 各種相談日 8月7日(金) 10時～
人権相談、生活相談、困っていること、何でも話に来てください。一緒に考えます。
- 周辺地域巡回事業 8月11日(火) 16時～、三島地域
- ふれあい喫茶(百円モーニング) **9月まで中止します**
- 軽スポーツ教室 8月25日(火) 19時30分～、松柏小体育館集合

就学前人権・同和教育研修会

この研修会は、「人と人をつなげよう！」というテーマのもと、就学前関係者が一堂に集い、差別の現実に学ぶことをとおして人権・同和教育の原点を見つめる研修の機会とすることを目的として毎年開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の関係から、各園で開催することとなり、市内の保・幼稚園、数か所の研修会へ館長と主事が共学者として参加しました。

今年の研修は、「市民一人ひとりが人権教育の心を育てるための5つの目標」について、作成された経緯や実践しての振り返り、部落差別解消とどうつながっているのか等、実践をとおして感じた意見や思い等を話し合い、学びを深めました。

就学前教育は、心の土壌を耕し、人の悲しさや辛さ、温かさを感じ、差別に出会った時に我がごととして受け止めるための心を育てる、大切な教育だと感じました。

【人権教育の心を育てる5つの目標！！】

1 気持ちの良いあいさつができる人に

自他のいのちを尊重する気持ちが生まれ、明るく前向きな気持ちになります。

2 はきものを脱いだらそろえる人に

行動をふり返り、自分を大切にすることを育ちます。

3 人に呼ばれたら「はい」と気持ちのよい返事ができる人に

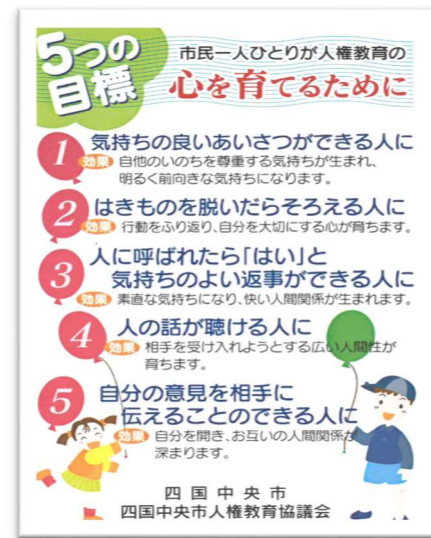
素直な気持ちになり、快い人間関係が生まれます。

4 人の話が聴ける人に

相手を受け入れようとする広い人間性が育ちます。

5 自分の意見を相手に伝えることのできる人に

自分を聞き、お互いの人間関係が深まります。



【参加者からの意見や思い】

- ただあいさつするのではなく、目を見て笑顔ですることを心掛けている。自分からあいさつすることで、信頼関係を築くことができると思う。

- 保護者の中には、自分はいさつをせず先生がいさつしてくれているのだから早くあいさつしなさい、と目的を間違えている方もいたが、あいさつすることだけが目的ではないことを伝えることで、保護者自らがあいさつしてくれるようになった。
- あいさつすることで、お互いの距離を近づけることができ、子どもや自分の話をしてくれる保護者もいる。
- はきものを揃えるでは、忙しく自分ができていない時、家で子どもができていた。子どもの姿を見てハッとさせられた。家庭生活にも関係している目標だと思う。
- 自分が脱いだ履物がきちんと揃えられており、履く時に気持ちがいいことに気付いてもらいたい。
- 気持ちの良い返事では、忙しい時には、目を見て返事ができていない時がある。子どもは保育者をよく見ている。子どもから学ぶこともある。
- 人権同和教育と聞くと身構える保護者が多いが、5つの目標が人権同和教育のハードルを下げていると感じる。

【共学者からの意見や思い】

- 5つの目標は「心を育てるため」だれもが身近に取り組める目標として掲げられている。
- この5つの目標は、無理やりやらせようとする取組ではない。人が生きていく上で大切な力となる「心」を育てることであり、そのことを忘れてはいけない。また、やりたくてもできない子の課題に寄り添える保育をしてもらいたい。
- 5つの目標は、すべて他者（相手）へ意識が向けられている。自分が受け入れられ、認められていることを実感できる人（親や先生、周りの人）とのかかわりを通して心は育っていく。
- 豊かに耕された心の土台の上に、正しい学びがのり、初めて人権・同和教育の芽が出る。そして差別や不合理的を許さない差別解消への行動につながる。
- 部落差別は人間としての尊厳を否定し、人と人とのつながりを断ち切るものであり、5つの目標の反対のことは行っている。就学前教育は、心を耕し、種をまく土壌づくりの大切な時期である。しっかりと取組を進めてほしい。
- 5つの目標が部落差別解消にどうつながっているのかを保護者に重ねる手助けとなる説明をしてもらいたい。5つの目標の出発点には、部落差別がある。部落差別が何かを知らない、重ねることも説明することもできないので、しっかりと学んでもらいたい。